

ハイパーリフト工法



特長

ハイパーリフト工法は、建物が近接している狭い箇所、高架下および電線下など、クレーン等でコンクリート製品の据付けが困難な施工を可能にします。従来の横引き工法に比べ施工性、経済性に優れた工法です。

① 環境に配慮

ハイパーリフトは電動で自走するため、騒音や振動などの心配はありません。

② 施工性を考慮

運搬機の前・後輪がそれぞれ独立して駆動するため、従来の横引き工法に比べ急曲線・折れ点部での施工性に優れています。

③ 省力化施工が可能

コンクリート製品と仮設とのクリアランスが100mmで施工が可能のため、仮設工および土工が縮減でき経済的です。

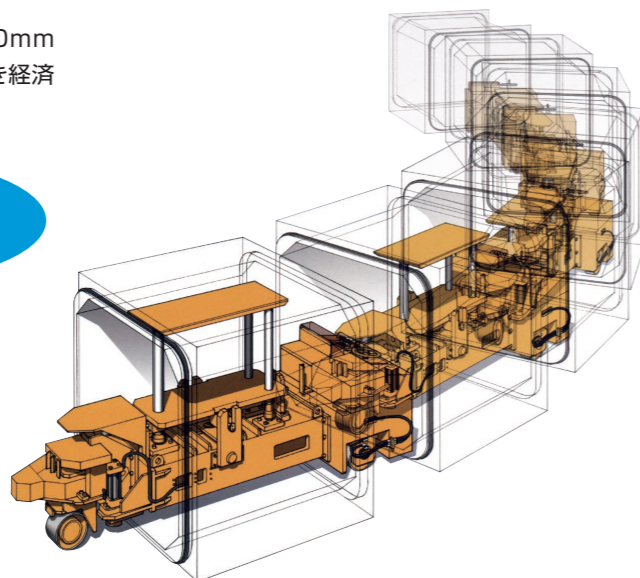
④ 製品加工は不要

コンクリート製品の頂版部を持ち上げて搬送するため、製品に特別な加工は一切必要ありません。また、基礎コンクリートにも特別なガイドは必要ありません。

⑤ 用途

下水道・河川水路・貯留槽等の函体で狭隘な場所・覆工桁下の道路横断・橋梁下の横断等に対応できます。

最小回転半径 2.5m

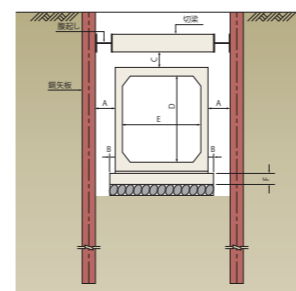


● ハイパーリフトの諸元

(単位：mm)

最大製品重量	8t	12t
全長	4,395 (前輪スライド時：4895)	5,500 (前輪スライド時：6100)
全幅	1250	1600
全高	1115	1670
重量	4,200kg	6,500kg
対応製品サイズ	□1000×1000～ 2000×2000	□1800×1800～ 2500×2500
最小回転半径	2.5m	3.7m
走行可能縦断勾配	10%	10%

● 標準施工断面図

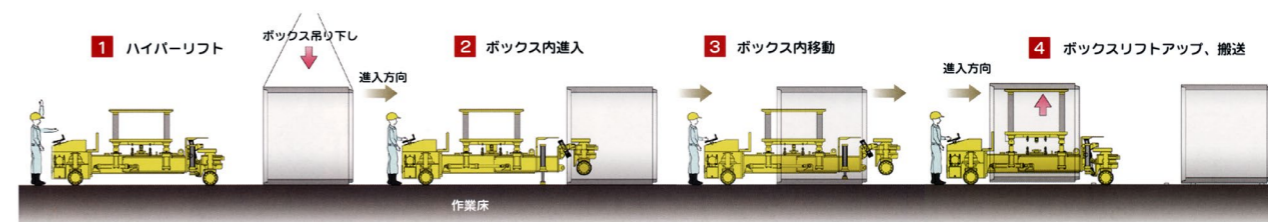


● 施工条件

(単位：mm)

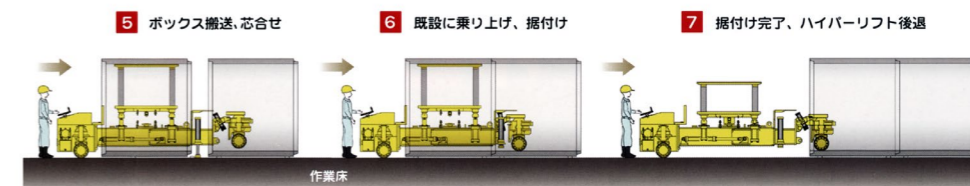
位置	寸法
A 製品外面より土留	100以上
B 製品外面より基礎コンクリートの張出距離	100
C 製品天端より切梁下面までの距離	100以上
D 製品最小内高	1000以上 2000以下
E 製品最小内幅	1000以上 2000以下
F 基礎コンクリート厚	150以上 (有筋)

施工手順



● 標準布設歩掛

名称	単位	数量
世話役	人	1.0
特殊作業員	人	2.0
普通作業員	人	2.0
ラフレーンクレーン賃料	日	1.0
ハイパーリフト損料	日	1.0
発電器損料	日	1.0
諸雑費	%	3.0



※1 ラフレーンクレーンは、製品の吊り下し用として使用します。
 ※2 諸雑費は、レバーブロック、載モルタル等の材料費で、労務費及び機械損料の合計に上表の率を乗じた金額を上限として計上願います。
 ※3 発電機は、15kVA (200V30A) 以上の規格をご用意願います。
 ※4 ハイパーリフトの回送費は、別途計上願います。

施工事例



カルバート

道路側溝

防護柵

道路擁壁

補強土

のり面

共同溝

消・融雪

用排水

ため池

生態系

護床・その他

新材料

台車運搬

横引き

推進

沈埋

地盤改良

カルバート

道路側溝

防護柵

道路擁壁

補強土

のり面

共同溝

消・融雪

用排水

ため池

生態系

護床・その他

新材料

台車運搬

横引き

推進

沈埋

地盤改良